

平成18年度決算に対する

各派の意見表明・討論

平成18年度一般会計ほか、6特別会計決算を審査するため、今定例会初日に議長を除く全議員により、決算特別委員会(委員長 薄井民男、副委員長 かまた百合子)を設置し、10日間にわたり慎重かつ厳正な審査を行いました。

各党派から出された意見表明・討論の要旨は、次のとおりです。

第二次行政改革推進で更なる財政健全化を!

練馬区議会自由民主党(14人)

平成18年度練馬区一般会計 歳入歳出決算と6特別会計歳入歳出決算に賛成の立場から意見を述べる。

各財政指標および普通会計収支の大幅な改善は、1期目の志村区政が進めた新行政改革プランの成果である。一方、区の自治の枠組みが大きく変更されかねない状況の中、より一層の財政構造の改革と歳入への更なる努力を要望する。

- 以下、意見と要望を述べる。
- 1 総務費**
- ①避難拠点機能を有する体育館へエアコンの整備を。
 - ②小中学校の普通教室へエアコンの実現を。
 - ③石神井・大泉地域へ高所カメラの設置を。
 - ④「災害時要援護者名簿」への登録の周知を。
 - ⑤「わたしの便利帳」は全戸に行き渡るように配付方法の検討を。
 - ⑥公衆浴場掲示委託事業を継続し、内容の充実を。
- 2 区民費・産業地域振興費**
- ①学校給食に練馬産のブルーベリーを。
 - ②商店街街灯の電気料を区で全額補助を。
 - ③イルミネーションコンテストを来年以降も継続されたい。
 - ④町会自治会の集会所施設へ支援を。
 - ⑤組織の一元化により、収納対策の効率化を。
 - ⑥アニメについて、話題性、継続性のある事業展開を。
- 3 保健福祉費**
- ①乳がん月間は本庁舎をピンク色にライトアップを。
 - ②女性健康づくりサミットの開催を。
 - ③石神井庁舎内に院外薬局の設置を。
 - ④不妊カウンセリング事業の実施を。
 - ⑤日光が丘、順天堂練馬病院に不妊治療外来の設置を。
 - ⑥障害者の負担軽減策を。
 - ⑦民生・児童委員協力員事業で地域福祉向上と社会福祉の増進を。
- 4 児童青少年費**
- ①第3子誕生祝い金は継続を。
 - ②保育園の1人当たりの園児に対する運営費の公私格差是正を述べる。

正を。

- ③「放課後子どもプラン」推進に伴い、他の放課後居場所事業と連携を図り、充実を。

5 環境清掃費

- ①食用油や蛍光灯等リサイクル事業の実施を。
- ②光化学スモッグ対策は今後も積極的な取り組みを。
- ③ごみ減量の目標達成に向けた啓発や指導を。

6 都市整備費・土木費

- ①放射7号線周辺まちづくりについて、整備期間中は万全の安全対策を。
- ②谷原交差点の渋滞解消のため、高速10号線の検討着手を。
- ③新座料金所付近にスマートICを関係自治体間で実現する努力を。
- ④大江戸線延伸事業は道路整備と地下鉄整備を可能な限り同時に進め、早期実現を。
- ⑤学校等の施設から雨水が流出しないよう地下貯水槽の設置を。
- ⑥道路冠水対策の必要などころは早期実施を。
- ⑦屋上緑化の助成額の増額、壁面緑化の推進に補助制度を。
- ⑧環状8号線の側道完成に併せてバス路線の整備を。
- ⑨補助133号線の整備時に中村橋駅周辺にタクシー乗り場、バスロータリーの設置を。
- ⑩外環道の促進と青梅街道フルインターの設置を。
- ⑪大泉学園駅周辺まちづくりは北口の貴重な土地を利用し駅前再開発の実現を。
- ⑫上石神井駅周辺のまちづくりは、町会・商店会で構成されているまちづくり協議会に支援を。
- ⑬「ねりまの森と昆虫展」の継続を。

7 教育費

- ①学校給食は、地産地消推進、食材は区内業者から、民間委託は区内業者に受注拡大を。
- ②「自ら学ぶ」「学ぶ意欲」を引き出すために、指導・学習に直結できる学習評価の確立を。
- ③校庭芝生化を含め、緑化の推進を。
- ④区立小・中学校の道徳教育の取り組み強化を。
- ⑤「中1ギャップ」の解消、一貫した生活・教育指導が図られるよう小中一貫教育の実施を。
- ⑥体育館の改修・改築に併せて武道場の設置を。
- ⑦学校適正配置は児童・保護者の不安や戸惑いを解消できるように適切な対応を。

8 公債費・歳入・特別会計

- ①重症心身障害児、通所事業の充実を。
- ②「小規模多機能型居宅介護」等を充実し、高齢社会の要望に応えたい。
- ③学校跡地を利用し、日大光が丘病院のベッド数の増床を。
- ④葉っぱい基金の仕組みを変えるよう検討を。

9 公債費・歳入・特別会計

- ①福祉作業所の工賃のアップを。
- ②障害者のグループに支援を。
- ③成人歯科健診は5歳刻みに。
- ④高度医療ができる総合病院を大泉地域に設置を。
- ⑤家庭相談員の相談体制の拡充を。
- ⑥「児童青少年費」①保育室に補助金等の支援策を。
- ②認証保育への移行に誘導支援を。
- ③新成人に思い出に残るお祝いを。
- ④小学校の余裕教室に児童クラブの移設を。
- ⑤家庭福祉員の緊急時におけるサポートシステムを。
- ⑥認証保育所と連携し、緊急一時保育を。
- ⑦環境清掃費①びん・缶・ペットボトルの回収場所を増設し、ごみ集積所と同一の場所以外回収を。
- ②古紙持ち去り所を回収を。
- ③町会・自治会がいき健康券のような支援を。

練馬西部地域に高度医療のできる病院を!

練馬区議会公明党(12人)

平成18年度練馬区一般会計、6特別会計歳入歳出決算について、賛成の立場から意見を表明する。行政改革を着実に推進し、区民サービスと福祉の向上に努めたことを評価する。今後、自立した自治体経営を目指し自主財源確保への取り組みに期待し、意見と要望を述べる。

- 〔総務費〕①災害時要援護者名簿登録制度の充実と登録数の増加策を。
- ②ホームページ等へ広告掲載し増収を。
- ③アトリウムの利用基準の見直しを。
- ④庁舎に区議会の表示を。
- ⑤翌日から投票できる期日前投票所の増設を。
- ⑥法律相談の日曜実施と相談所の増設を。
- ⑦DV相談窓口の増設を。

と電話相談の拡大を。

- ⑧安全安心パトロールカーの増車と貸し出し回数の増加を。

〔区民費〕①出張所見直しの周知と便利帳への記載を。

- ②自動交付機の利用登録促進と納税証明書、課税証明書、戸籍謄本等も発行可能に。
- ③区民税のコンビニ納付実現を。
- ④「産業地域振興費」①商店街の提案する事業と特色ある商店街づくりの推進を。
- ②商店街の装飾灯の電気代を全額補助し、照度の暗い装飾灯を明るくするものに改善を。
- ③区内転入の方に練馬名所の入った転居通知ハガキを配付し観光客増加を。
- ④アニメに関する観光施設の設置を。

〔保健福祉費〕①福祉作業所等の工賃のアップを。

- ②障害者のグループに支援を。
- ③成人歯科健診は5歳刻みに。
- ④高度医療ができる総合病院を大泉地域に設置を。
- ⑤家庭相談員の相談体制の拡充を。
- ⑥「児童青少年費」①保育室に補助金等の支援策を。
- ②認証保育への移行に誘導支援を。
- ③新成人に思い出に残るお祝いを。
- ④小学校の余裕教室に児童クラブの移設を。
- ⑤家庭福祉員の緊急時におけるサポートシステムを。
- ⑥認証保育所と連携し、緊急一時保育を。
- ⑦環境清掃費①びん・缶・ペットボトルの回収場所を増設し、ごみ集積所と同一の場所以外回収を。
- ②古紙持ち去り所を回収を。
- ③町会・自治会がいき健康券のような支援を。

〔教育費〕①学校給食は、地産地消推進、食材は区内業者から、民間委託は区内業者に受注拡大を。

- ②「自ら学ぶ」「学ぶ意欲」を引き出すために、指導・学習に直結できる学習評価の確立を。
- ③校庭芝生化を含め、緑化の推進を。
- ④区立小・中学校の道徳教育の取り組み強化を。
- ⑤「中1ギャップ」の解消、一貫した生活・教育指導が図られるよう小中一貫教育の実施を。
- ⑥体育館の改修・改築に併せて武道場の設置を。
- ⑦学校適正配置は児童・保護者の不安や戸惑いを解消できるように適切な対応を。

〔公債費・歳入・特別会計〕①福祉作業所の工賃のアップを。

- ②障害者のグループに支援を。
- ③成人歯科健診は5歳刻みに。
- ④高度医療ができる総合病院を大泉地域に設置を。
- ⑤家庭相談員の相談体制の拡充を。
- ⑥「児童青少年費」①保育室に補助金等の支援策を。
- ②認証保育への移行に誘導支援を。
- ③新成人に思い出に残るお祝いを。
- ④小学校の余裕教室に児童クラブの移設を。
- ⑤家庭福祉員の緊急時におけるサポートシステムを。
- ⑥認証保育所と連携し、緊急一時保育を。
- ⑦環境清掃費①びん・缶・ペットボトルの回収場所を増設し、ごみ集積所と同一の場所以外回収を。
- ②古紙持ち去り所を回収を。
- ③町会・自治会がいき健康券のような支援を。

執行時の課題を議会と共有し、精度を高めよ

民主党練馬クラブ(10人)

議会の「チェック機能」を果たす決算審議で、区長の理念(問題がないと思うことが問題)が欠落した一部答弁は、執行時の諸課題を議会と共有し、精度の高い施策を、提供し、環境の整備を。

〔NPOに活動機会や情報を提供する等、環境の整備を。〕

①外国人に対する情報提供や広報を随時、区報等で積極的に広報することを要望する。

②NPOに活動機会や情報を提供する等、環境の整備を。

〔環境まちづくり事業に関連して〕

- ①太陽光活用、緑化、低公害車優遇措置等で二酸化炭素削減

- 〔公債費・歳入・特別会計〕①福祉作業所の工賃のアップを。
- ②障害者のグループに支援を。
 - ③成人歯科健診は5歳刻みに。
 - ④高度医療ができる総合病院を大泉地域に設置を。
 - ⑤家庭相談員の相談体制の拡充を。
 - ⑥「児童青少年費」①保育室に補助金等の支援策を。
 - ②認証保育への移行に誘導支援を。
 - ③新成人に思い出に残るお祝いを。
 - ④小学校の余裕教室に児童クラブの移設を。
 - ⑤家庭福祉員の緊急時におけるサポートシステムを。
 - ⑥認証保育所と連携し、緊急一時保育を。
 - ⑦環境清掃費①びん・缶・ペットボトルの回収場所を増設し、ごみ集積所と同一の場所以外回収を。
 - ②古紙持ち去り所を回収を。
 - ③町会・自治会がいき健康券のような支援を。

行う古紙回収の報奨金の増額を。

- ④灰溶融炉で生産される溶融スラグの利用拡大を。
- ⑤家庭からの廃食油の回収を行い、バイオディーゼル燃料としてごみ収集車に活用を。

〔都市整備費・土木費〕①交通不便地域の解消を目指し、バス路線の見直し・新設を。

- ②放置自転車撤去の時間帯の工夫と誘導員の配置日と時間の拡大を。
- ③区内の交通危険箇所改善に積極的な取り組みを。
- ④3・5m以下の公道や私道の照度アップを。
- ⑤暗い歩道に、街路灯の設置を。

〔教育費〕①学校適正配置の利点の周知と関係者への丁寧な対応を。

- ②F F暖房機の買い替えに併せて普通教室にエアコンの設置を。
- ③心のふれあい相談員とスクールカウンセラーの事業の拡大を。
- ④全幼稚園に特別支援巡回相談の実施を。
- ⑤図書館図書返却、貸し出し窓口を駅前やコンビニ等に。
- ⑥不登校児童等を対象にホースセラピーの導入を。
- ⑦練馬区版「放課後子どもプラン」を策定し全校で実施を。
- ⑧学校校庭芝生化の推進を。
- ⑨「公債費・歳入・各特別会計」①旧N T T社宅跡地をはじめ国公有地を取得し、公園整備等を。
- ②住民参加型ミニ公募債の拡大を。
- ③財政調整特別交付金の基準の明確化や透明化の改善を。
- ④負担増となつた高齢者・低所得者に、いきいき健康券のような支援を。



練馬区観光案内所(練馬駅地下コンコース)

〔公債費・歳入・各特別会計〕①旧N T T社宅跡地をはじめ国公有地を取得し、公園整備等を。

- ②住民参加型ミニ公募債の拡大を。
- ③財政調整特別交付金の基準の明確化や透明化の改善を。
- ④負担増となつた高齢者・低所得者に、いきいき健康券のような支援を。

〔区民生活事業に関連して〕

- ①外国人に対する情報提供や広報を随時、区報等で積極的に広報することを要望する。
- ②NPOに活動機会や情報を提供する等、環境の整備を。

〔環境まちづくり事業に関連して〕

- ①太陽光活用、緑化、低公害車優遇措置等で二酸化炭素削減



決算特別委員会

2006年度一般会計歳入歳出決算、国保事業会計、介護保険会計、公共駐車場会計の4決算の認定に反対する。大増税と社会保障切り捨て、雇用の破壊などで、区民に格差と貧困が広がっている。暮らしと福祉を守るべき自治体

本来の役割を否定した行財政運営が進められてきた。第一に、格差と貧困を広げた「構造改革」に言いなりの練馬「行革」で、福祉と住民サービスを切り捨ててきた。第二に、民間丸投げの公的責任放棄を進め、保育園委託

103億円もの黒字活用し区民生活優先に転換を 日本共産党練馬区議団(6人)

減目標達成に不転換の決意を。また、指定管理者にも適用を。②高齢者や障害者等を考慮した区独自の住宅政策のために整備基金の充実を。③誘導員の増員で放置自転車対策を。学校の協力や禁止区域の見直しを。歩道橋は、撤去を視野に今後のあり方を検討すべき。④国の失策で都市農地が犠牲になった。法改正を求めよ。緑の維持は区民との協働で。校庭の芝生化は維持管理を考慮し、慎重な検討を。

区長は区政運営を「経営」と言い換え、効率最優先で行ってきた。委託化民営化による職員削減と経費の削減が先行しているが、区民の命と健康を優先する区政運営が大事。財政にかかわる資料や情報は公開し、将来を見通した自治体財政のあり方を区民ともにつくる姿勢を求める。

経済効率より命と健康が大切にされる練馬に 生活者ネットワーク(3人)

区民健康診査は、30歳から実施し無料化を。⑧いきいき健康事業は継続・拡充を。⑨介護保険制度改善をやめさせ、誰もが使いやすいものにせよ。守れ。

⑩区立保育園の委託を撤回し、新増設を図れ。⑪サーマルリサイクル中止と家庭ごみの無料堅持を。⑫大江戸線延伸に直結しない11億円余の税金を使う土田区画整理は見直し、直ちに延伸を求めよ。⑬外環道の青梅街道ICと地上部街路中止を求め、八の釜湧水保全と換気塔の環境対策を図れ。⑭100円で乗れるコミュニティバスを住民参加で進めよ。⑮都市型水害への対策強化を。⑯学校にクーラー設置を。⑰学校の統廃合計画は中止を含め再検討を。⑱学力テスト結果の公表と学校選択制は中止せよ。⑲三位一体改革で34億円余の財源を圧迫。国と都に財源措置を求めよ。⑳昨年の48億円余の住民税増税に苦しむ区民の減免実施をやめ、区民のための予算は残さず使うべき。㉑国保資格証を中止し、国民健康保険証を発行し、区民の生命と健康を守れ。

平成18年度一般会計決算歳入額が2千億円を超える巨額の区財政について区議会が審査を行っても支出の細目には十分な調査など不可能だ。また区監査制度は明らかに内部の形式的なものであり、外部監査を包括と個別を併せて行うべきである。更に

今こそ区政に「外部監査」と内部告発活用を オンブズマン練馬(1人)

必要なら、事態を無視した民間委託化など問題が多い。介護保険制度の改善に対しは、一般財源を使い保険外で独自の事業を実施すると

好転した財政で、くらしと福祉の施策充実を 社民党練馬区議団(1人)

一般会計、介護保険会計各決算に反対。財政状況の好転とは逆に区民のくらしは悪化している。「必要などころに必要なら」とはならない。また、実態を無視した民間委託化など問題が多い。介護保険制度の改善に対しは、一般財源を使い保険外で独自の事業を実施すると

平成18年度決算に対する各会派の態度

会派名	○賛成						×反対		結果
	自民	公明	民主	共産	生活	緑	社民	オン	
一般会計	14人	12人	10人	6人	3人	1人	1人	1人	認定
国民健康保険事業	○	○	○	×	×	×	○	×	認定
介護保険	○	○	○	×	×	×	×	×	認定
老人医療	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
用地	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
公共駐車場	○	○	○	×	○	○	○	○	認定
学校給食	○	○	○	○	○	○	○	○	認定

*自民党の議員数は議長を除いた人数

議会Q&A

Q 決算の認定とはどういうことですか?
A 予算が一般会計年度における収入、支出の見積もりであるのに対し、決算は、収入、支出の実績であり、結果です。決算の認定とは、予算がどのように使われて、どのような成果をあげたかを住民の立場に立って審査し、判定することです。

目先の財政効果の陰でゆらぐ住民福祉 市民の声ねりま(1人)

①議会が議決した基本構想を尊重せよ。②駐車場使用料の根拠が不明。施設に準じた減免を。③区管理職OBの再就職は法改正を踏まえ規制を。④通学介助の利用基準緩和を。⑤地域の小児科医療の底上げを。⑥介護保険・生活援助は同居家族がいても柔軟な利用を。⑦光八保育園の検証と対策が不十分。新たな委託化は反対。待機児対策は認可保育園を基本に。保育室利用者に